

## 2017年度 日本建築学会東海支部研究集会

- 主催 日本建築学会東海支部
- 日時 2018年2月19日(月) 9:00~17:00 (予定) ※平日開催です。  
一般講演+支部シンポジウム(於: ES総合館 2F、3F 講義室)  
2月20日(火) 9:00~17:00 (予定)  
一般講演(於: ES総合館 2F、3F 講義室)

- 会場 名古屋大学(東山キャンパス ES総合館)  
公共交通機関: 地下鉄 名城線 名古屋大学駅 3番出口すぐ  
アクセスマップ: <http://www.nagoya-u.ac.jp/access/index.html>  
キャンパスマップ: <http://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/index.html>  
(マップ内のC-2)

※会場には一般駐車場はありません。また周辺は駐車禁止区域になっております。  
自家用車での来場はご遠慮ください。

### ■一般講演・シンポジウム

1. 一般講演
- ・講演時間: 1題当たり12分(発表9分・質疑3分)
  - ・使用できる映写機器 PCプロジェクター: 会場に設置済み
- ※データファイルを保存したPCをご持参ください  
(ただし、使用に関しては支部HP (<http://tokai.aij.or.jp/>)  
の注意事項を必ず参照ください)

建築 CPD  
認定プログラム

1) 材料・施工	2月19日(月) 9:00~11:58	会場: 021
	2月20日(火) 9:00~12:12	会場: 021
2) 構造	2月19日(月) 9:30~11:52	会場: 024
	2月19日(月) 10:00~11:36	会場: 025
	2月20日(火) 9:30~14:12	会場: 024
	2月20日(火) 9:30~14:00	会場: 025
3) 環境工学	2月19日(月) 9:40~11:57	会場: 022
	2月20日(火) 10:00~14:16	会場: 022
4) 建築計画	2月19日(月) 9:30~12:08	会場: 034
	2月20日(火) 9:30~16:10	会場: 034
	2月20日(火) 9:30~15:00	会場: 033
5) 都市計画	2月19日(月) 10:00~11:48	会場: 033
	2月20日(火) 10:00~11:58	会場: 035
6) 歴史・意匠	2月19日(月) 10:00~11:58	会場: 035
	2月20日(火) 13:00~13:36	会場: 035

### 2. 設計競技支部入選者表彰式

2月19日(月) 12:45~13:00 会場: 025 講義室

### 3. 東海賞授与式

2月19日(月) 13:00~13:50 会場: 025 講義室

#### 4. シンポジウム

2月19日(月) 14:00~17:00 会場: 025講義室

建築 CPD3 単位  
認定プログラム

テーマ: 「建築施工のこれからは? - 建築・土木分野における施工の情報化の現状と今後 -」

#### 5. 設計競技展示会

2月19日(月) ~ 20日(火) 会場: ES総合館2階ロビー

#### ■ その他

- ・両日とも必ず受付をしてください。
- ・下記の通り**参加費**が必要です。

A) 無料: 発表登録者、CD-ROM購入の方、学生(大学院、学部、高専など)

B) 1,000円: 上記以外の方

#### ■ 2017年度(第32回)日本建築学会東海支部東海賞・受賞者および内容

##### 1) 論文賞

・伊藤洋介 君(名古屋工業大学)

「準マイクロ波による融雪用発熱モルタルブロックの電波遮蔽材に関する研究」

・佐藤一郎 君(愛知県庁(名古屋大学在籍時の業績))

「既存木造住宅の耐震・省エネ改修の同時施工によるコストメリットに関する研究」

##### 2) 作品賞

一般部門

・高橋 勉 君(株式会社NTTファシリティーズ)

「MIZKAN MUSEUM」

住宅部門

・鈴木崇真 君(鈴木崇真建築設計事務所)

「庭のあるシェアハウス」

※審査評は追って『建築雑誌』に発表します。(4月号予定)

建築 CPD3 単位  
認定プログラム

#### ■ 2017年度東海支部研究集会シンポジウム

「建築施工のこれからは? - 建築・土木分野における施工の情報化の現状と今後 -」

近年、建築分野では BIM を活用した施工モデリングが設計~施工段階で実施されるようになり、土木分野では国土交通省が i-Construction を推進しようとするとともに CIM を活用した設計~施工の検討が行われるようになりました。このような情報化技術を用いることによって建築の施工はこれからどのように変わっていくのでしょうか。建築分野では BIM による工構法の研究に携わっている先生と構造設計においてデジタルエンジニアリングを活用されている実務者の方に、土木分野では土工事における i-Construction の展開に携わっている方に現状と今後の展開をお話いただき、会場の皆様と共にこれからの施工の情報化に関する議論を行いたいと思います。

主催 東海支部材料施工委員会

日時 2018年2月19日(月) 14:00~17:00

会場/定員 名古屋大学 025 講義室/140名

参加費/申込み 会費無料/不要・当日先着順

プログラム

司会・進行 瀬古繁喜（材料施工委員会委員長 愛知工業大学）

14:00～14:05 支部長挨拶：鈴木賢一（名古屋市立大学）

14:05～14:15 趣旨説明：瀬古繁喜（前出）

14:15～14:40 BIMによる建築プロジェクトの運営について：志手一哉（芝浦工業大学）

14:40～15:05 コンピューテーションを用いた構造設計におけるデジタルエンジニアリング  
：田村尚土（(株)ディックス構造設計部）

15:05～15:30 土木分野の土工事における i-Construction の活用  
：岡田雅史（(株)小林コンサルタント）

15:30～15:45 休憩

15:45～16:50 討論：「これからの施工の情報化」 進行：瀬古繁喜（前出）  
パネラー：志手一哉、田村尚土、岡田雅史

16:50～17:00 まとめ：寺西浩司（名城大学）

記 録：平岩 睦（名城大学）

## ■日本建築学会東海支部学生優秀学術講演賞概要

### 1. 主旨

日本建築学会東海支部研究集会における若手の優秀な講演を顕彰し、当支部の研究活動の活性化を図ることを目的とする。

### 2. 審査の対象

東海支部研究集会で講演した高専学生、大学学部生・修士課程（博士前期課程）大学院生のうち、講演の優秀な方を表彰する。同一者による複数の講演は、それぞれを独立した講演とみなして審査するが、表彰は一人につき一件を上限とする。

### 3. 受賞者の数

受賞者の数は、全審査対象数の 10%程度とする。

### 4. 審査方法

審査は発表分野ごとに行う。

### 5. 受賞者の表彰と公表

表彰は「日本建築学会東海支部学生優秀学術講演賞」と称し、賞状を贈呈する。公表は、受賞者の氏名、所属を東海支部のホームページに掲載するとともに、建築雑誌にも掲載する。